

宇宙生命哲学

ことはじめ

61

北里環境科学センター
名誉顧問／宇宙生命哲学者

伊藤 俊洋

2023年のノーベル賞

コロナ禍は下火になったとはいえ、世界は戦火に覆われていて、人類の叡智は不在である。せめてもの思いで、2023年のノーベル賞を紹介する。

生理学・医学賞は、mRNAワクチンの開発につながる発見をしたカタリン・カリコ博士(68)とドリユー・ウイスマン博士(64)(挿画3段目左から)に贈られる。新型コロナウイルスに対するワクチンが極めて短期間で開発され、結果的に数億人の命が救われたことが、高く評価された。mRNAは、DNAの特定の領域の遺伝情報が、RNAの配列に読み替えられたもので、その情報をもとに体内でタンパク質を作ることができる。この仕組みを利用して、体内でウイルスの表面のタンパク質を作れば、実際の感染に先立って、免疫細胞がウイルスと戦う準備を整えることができる。成果が出て2年というスピード受賞である。物理学賞は、1秒の100京分の1の「アト秒」

という極めて短い時間を観察する技術を開発した

3名の科学者、ピエール・アゴスティニ博士、

フェレンツ・クラウス博士(61)、アンヌ・ルイエ

博士(65)(上段左から)が榮譽に輝いた。アト秒

科学は、超高速で動く電子を光学的に観測でき、

高性能半導体デバイスの開発、生きた細胞の様子

の観察、病気の診断などに

役立つことが

期待されている。

化学賞は、

「量子ドット

の発見と合成法の確立」に

対し、ムンジ・G・パウエンティ博士、ルイス・

E・ブルース博士、アレクセイ・I・エキモク博

士(2段目左から)に贈られる。量子ドットはナ

ノサイスの結晶で、テレビやLED照明で活用さ

れており、また、医療現場での応用が期待されて

いる。

文学賞は、ノルウエー出身の劇作家、ヨン・フ

ォッセ氏(64)(3段目右端)に贈られる。普遍的

な人間の気持ちを詩情豊かに表現する作品が高く

評価された。

平和賞は、イランの人権活動家ナルゲス・モハ

マディ氏(51)(4段目左)に贈られる。イランに



2023年のノーベル賞受賞者肖像画家N.エルメ

おける女性の抑圧と戦い、全ての人の人権と自由を促進した。現在は、首都テヘランのエヒン刑務所に収監されている。経済学賞は、クラウディア・ゴールドティン氏(77)(4段目右)に贈られる。米国の200年以上にわたる労働市場のデータを分析し、男女の収入や雇用の格差が生ずる原因についての包括的な研究が評価された。経済学賞で女性の受賞は史上3人目である。